

〔聞き取り問題〕 放送は、試験開始二分後に始まるので、それまでに後の問いを読んでおきなさい。

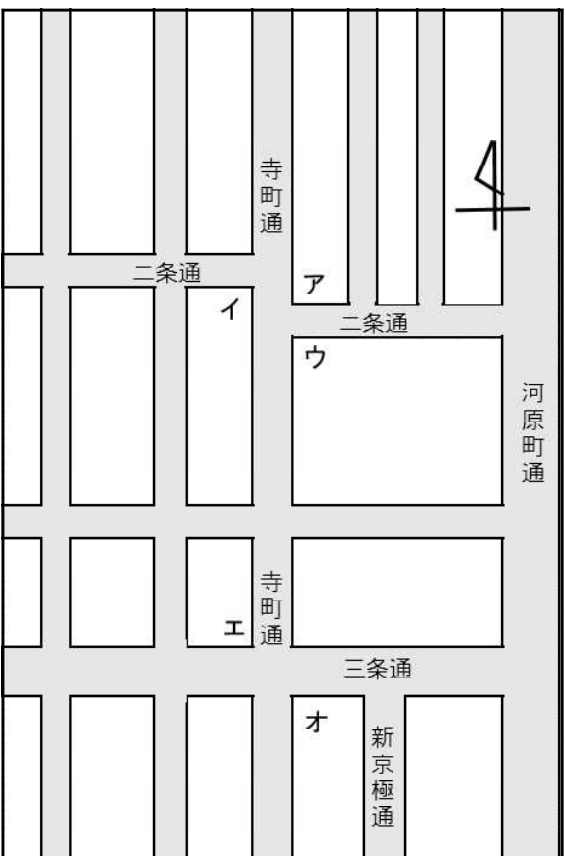
(注) 梶井基次郎 大正く昭和期の小説家。代表作に『檸檬』がある。

寺町通 『檸檬』に登場する通りの名前。

八百卯 『檸檬』に登場する店の名前。

丸善 『檸檬』に登場する本屋。

問1 「八百卯」があった場所として最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。



問2 昭和前半期の若者について筆者はどのように説明しているか、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 京都に住む文学好きの青年は、「八百卯」でレモンを買うことを楽しみにしていた。

イ 全国の文学好きの青年のおかげで、「八百卯」ではレモンがたくさん売れていた。

ウ 戦争が迫っているという社会情勢から、主人公の状況に共感しやすかった。

エ 主人公の心情を通じて、戦争が始まる前の平穏な日常を懐かしんでいた。

問3 主人公が惹き寄せられた情景の説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 東京や大阪のように人が多く賑やかな通りに、古い建物がひっそりと存在している様子。

イ 夜になり店の明かりが通りにあふれている中で、果物屋のあたりだけが暗いという様子。

ウ 都市開発の進んだ東京や大阪とは違って、歴史ある寺院が荘厳な雰囲気と漂わせている様子。

エ 東京や大阪とは違い空気が澄んでいるため、明るい通りでも夜空の星がきれいに見える様子。

問4 「お寺の列車」とはどのような意味か二十字程度で説明しなさい(句読点等を含む)。

問5 河原町通が京都のメイン・ルートになったのは、『檸檬』が発表されてから約何年後のことか、漢数字で答えなさい。

問6 主人公の行動として適切なものを次のア～カから四つ選び、正しい順に並び替えて答えなさい。

ア 本を片手に寺町通を歩いて行く。      イ レモンを持って寺町にある丸善に入る。

ウ 八百卯でレモンを購入する。      エ 京極を下っていく。

オ レモンを爆発させ丸善を粉々にする。      カ 美術書の棚にレモンを置く。

問7 梶井基次郎と同じ時期に活躍した小説家として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 松尾芭蕉      イ 宮沢賢治      ウ 村上春樹      エ 与謝野晶子

※スクリプトは、次の文章を元に作成しました。著作権の関係で掲載はできません。

高野澄『文学でめぐる京都』岩波ジュニア新書 1985年

二 次の各問いに答えなさい。

問 1 次の文の――部が修飾する語を次のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 最後の葉がはらりと地面に落ちたが、気にする者はいなかった。

ア 地面に イ 落ちたが ウ 気にする エ いなかった

(2) 他に味方がいない中、彼はたつた一人でこのプロジェクトを  
見事成功に導いた。

ア 一人で イ このプロジェクトを ウ 成功に エ 導いた

問 2 次の熟語と同じ構成でできている熟語を下のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 人造 (ア) 漢字 イ 苦楽 ウ 雷鳴 エ 作文

(2) 開会 (ア) 尽力 イ 未定 ウ 消去 エ 物価

問 3 次の三つの□に共通する漢字を次のア～カから一つずつ選び、熟語を作りなさい。

(1) 清□ ・ 一□ ・ □除 (2) □直 ・ 強□ ・ □筆 (3) 交□ ・ □乱 ・ □誤

ア 解 イ 硬 ウ 錯 エ 正 オ 掃 カ 流

問 4 ――部の敬語の使い方として正しいものには○を記入し、誤っているものは正しい使い方に直しなさい。

(1) お客様、コーヒーと紅茶のどちらに<sup>①</sup>いたしますか。

(2) ただいま社長は席を外して<sup>②</sup>おられますので、午後に<sup>③</sup>お越し下さい。

三 次の文章は下村湖人『論語物語』の一節である。文章を読んで、後の問いに答えなさい(ただし、設問の都合で本文を一部変更しています)。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(注) ※1 子路・子羔・閔子騫

いずれも人名。孔子の門人(弟子)たち。子路は門人の中でも年長者であった。

※2 季氏

古代中国の国のひとつである「魯」の公族。季孫氏とも。代々、魯国の政治の実権を握っていた。

※3 費邑

古代中国の都市名。「費」は地名。「邑」は「市」や「村」のように集住地であることをあらわす。

※4 生

まだ不十分である、中途半端であること。

※5 孔子

古代中国は春秋時代の思想家。その教えは儒教として伝わり、中国思想の根幹となった。

※6 道

ここでは儒教における「道」。人として踏み行うべき理想的精神のこと。儒教ではこれを人間社会を成立させる根本であると考えた。

※7 門を辞した

(家から) 退去する。帰る。

問1 部 a e について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 部 (1) (2) の文中の意味として最も適切なものを後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 「得々として」 ア 喜び勇んで イ 大急ぎで ウ 元氣よく エ 自慢気に  
(2) 「だしぬけに」 ア 無愛想に イ いきなり ウ 面と向かって エ 辛らつに

問3 I II にあてはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア I しかし II つまり イ I だから II つまり  
ウ I しかし II しかも エ I だから II しかも

問4 【A】【B】にあてはまる「人間の身体の部分を表わす語句」の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア A 肌 B 目 イ A 肌 B 眉  
ウ A 腹 B 眉 エ A 腹 B 目

問5 【C】【D】にあてはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア C やれやれ D ぐずぐず イ C ほれほれ D ぶらぶら  
ウ C しめしめ D くらくら エ C ぎらぎら D おろおろ

問6 本文中からは【孔子の視線は依然として動かなかった。】という一文が抜け落ちている。その文が入る箇所を本文中の

い から一つ選び、記号で答えなさい。

問7 部①「孔子の機嫌を損じている理由」を次の文章の空欄におさまる形で端的に述べた部分を**十五字**で本文から抜き出し、その最初と最後の三字を書きなさい(句読点等を含む)。

子路が( )から。

問8 部②「いったいだれのために彼を採用したのだ」の問いに子路自身が至った答えとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 季氏のため イ 孔子のため ウ 子路自身のため エ 道のため

問9 本文の表現内容の説明として合致するものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 物語は孔子と子路の対話劇として描かれ、子羔に対する教育上の方法論がそれぞれ違うことが段階的に明らかになっていくことで、やがて師弟に訪れる決定的な断絶を暗示している。

イ 孔子が弟子との出来事を回想するという形式の中で、愛すべき弟子に対しても教育すべきことについて、断固たる態度で「道」を示そうとする孔子の苦心がそのままに描かれている。

ウ 冒頭に孔子の心情が述べられているものの、物語は子路の心の動きが中心に描かれ、孔子の沈黙をきっかけに自身身の過ちに気づいた子路の受ける衝撃が効果的に表わされている。

エ 全体として登場人物の動きが抑制されている中で、孔子、子路それぞれの眼の動きを細やかに描くことによって、対話と心情のみの単調になりがちな展開に臨場感をもたらしている。

問10 本文は中国古典である『論語』の章句を自在に引用し、物語として再構成したものである。次のア～オの『論語』の章句の書き下し文を本文中の場面に出てきた順に並び替えなさい。

ア 子路曰はく、「民人あり、社稷(※土地の神とその祭壇)あり、何ぞ必ずしも書を読み、然る後に学びたりと為さんや。」と。

イ 子曰はく、「是の故にかの佞者(※口先がうまいだけの人間)を悪む。」と。

ウ 子路、子羔をして費の宰たらしむ。

エ 子曰はく、「論の篤きにのみ是れ与せば、君子者(※人格者)か、色荘者(うわべだけの人格者)か。」と。

オ 子曰はく、「かの人の子を賊なう。」と。

#### 四

次の文章は令和2年度「東京大学入学者選抜要項」の一部分である。次の文章を読んで、後の問いに答えなさい(ただし、設問の都合で本文を一部変更しています)。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(注) ※1 負託 責任を持たせて、任せること。

※2 軌を一にする 立場や方向を同じくすること。

問1 部 a く e のカタカナと同じ漢字を含むものを次のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- a ソウリツ ア 会議資料のソウアンを練る。 イ 祖父の肩のジュウソウは戦時中に受けたものだ。  
ウ 十年ぶりにドウソウ会を開催する。 エ 宇宙人とソウグウしたことはあるか？  
b キバン ア 彼女は大器バンセイ型の人材だった。 イ 彼の一言にはバンの思いがこめられていた。  
ウ 試合もシュウバンに差し掛かった。 エ ヒンバンから商品を調べることができた。  
c ハツキ ア 母のキタイに沿えるようにがんばる。 イ 人生のテンキが訪れようとしている。  
ウ エタノールはキハツ性の液体だ。 エ 書庫の中の古い資料をハイキする。  
d コウハン ア 新製品の新聞コウコクを出す。 イ 県内のコウキョウ施設は全面禁煙だ。  
ウ 中学生の息子がハンコウ期だ。 エ 彼はスウコウな精神の持ち主だ。  
e ガクジュツ ア ピアノは弾けるがガクフは読めない。 イ 彼のことばはガクメン通りには受け取れない。  
ウ ガクシキ経験者の意見を聞く。 エ 兄は東京消防庁サンガク救助隊に所属している。

問2 I II に入る最も適切な語の組み合わせを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア I そもそも II さて イ I たとえば II さらに  
ウ I そこで II しかし エ I そのため II したがって

問3 A B に入る最も適切な語を、次の語群から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

【語群】 ア 相対 イ 無機 ウ 基礎 エ 有機 オ 応用 カ 間接 キ 直接 ク 絶対

問4 部 (1) 「リベラル・アーツ教育」のここでの意味として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 専門教育と同じ学びの質を持つ探究的な教養教育  
イ 専門教育を学ぶために必要となる基礎的な教養教育  
ウ 専門教育を学ぶ前に履修する体験的な基礎教育  
エ 専門教育につながる高等学校教育段階の基礎教育

問5 部 (2) 「積極的」の対義語を答えなさい。

問6 部①について、「強い意欲を持って学ぼうとする志の」高さとはどのようなことか、その内容を言い換えている箇所を「**東京大学の使命と教育理念**」の中から**二十六字**で抜き出さない(句読点等を含む)。

問7 X にあてはまる文として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 本学の教育研究環境を積極的に最大限活用して、自ら探究的に学び、唯一解を専門的に追究する中で市民的成長を果たそうとする資質を持った  
イ 世界中の教育研究機関と継続的に連携しながら、自ら探究的に学び、唯一解を専門的に追究する中で市民的成長を果たそうとする意志を持った  
ウ 本学の教育研究環境を積極的に最大限活用して、自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していきこうとする意志を持った  
エ 世界中の教育研究機関と継続的に連携しながら、自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していきこうとする資質を持った

問8 部②「本学の学部入学試験は、以下の三つの基本方針に支えられています」とあるが、基本方針として間違っている

るものを次のア～カから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 試験問題は、高等学校教育段階での学習範囲と同じものとする。
- イ 文系・理系わけへだてなく幅広く学習していることを重んじる。
- ウ グローバルな視野と外国語で伝え合うことのできる能力を求める。
- エ コミュニケーションのための高度な英語運用能力を必要とする。
- オ 東京大学に合格するために必要な知識の詰め込みを要求する。
- カ 持っている知識を関連づけて答えを導く能力の高さを重視する。

問9 東京大学が募集要項で求める人材とは、どのような人材か。それらにあてはまらないものを、次のア～カから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 健全な倫理観と責任感
- イ 心と体の健康
- ウ 学びに対する興味や関心
- エ 人間的成長への強い意欲
- オ 受験スキルと偏差値の高さ
- カ 探究力と洞察力